

地方創生関連交付金等事業評価シート

資料4-1

事業名	美術館を核とした賑わい創出・交流人口拡大事業		事業期間	平成 28 年度 ~ 32 年度					
			所管課	いずみアピール課					
交付金事業の概要	<p>○美術館を中心としたエリア価値向上のため、活躍の場を求めるアーティストや地域住民、近隣店舗と協働、連携し、美術館所蔵品等に纏わるパブリックアートを制作し、まちなかに展示する。</p> <p>○市民が文化芸術に気軽に触れ合えるアートイベントを関係者と連携して実施するほか、地域の飲食店等を地域魅力の核として育成するとともに、美術館に隣接する公園、広場等を活用し、地域交流の促進、まちの賑わいの創出につなげる。</p> <p>○交通アクセス、利便性の向上を図るため、国道480号バイパスの開通を機に試験的に「和泉・かつらぎ連絡バス」を臨時運行する。</p>								
事業の背景及び目的	<p>○和泉市久保惣記念美術館周辺地域は、古くからの街並と新たに形成された街並が混在する閑静な環境にあり、地域内には、市民活動拠点の複合施設である和泉シティプラザやカフェ、レストラン等が集積する地区がある。</p> <p>○また、桃山学院大学のほか、桜・紅葉の名所として知られる松尾寺などの景勝地が点在している。</p> <p>○こうした中、美術館を中心に他の魅力的なスポットを複合的にブランディングしていく「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を推進し、新旧の魅力が融合する観光の振興を図る。</p>								
予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	報償費	246,000	委託料	15,720,000		報償費	36,000	委託料	15,458,301
	食糧費	22,000	使用料	32,000		食糧費	3,960	使用料	920
	印刷製本費	200,000				印刷製本費	49,248		
	計		16,220,000			計		15,548,429	
平成29年度の取組	取組①名称：和泉市・かつらぎ町広域観光路線実証実験バスの運行								
	取組の内容	<p>○平成29年4月29日から、日曜日・祝日限定で「和泉市・かつらぎ町広域観光路線実証実験バス」を運行。</p> <p>○和泉市(南海バス)と和歌山県かつらぎ町(和歌山バス那賀)から各3便、計6便/日。</p> <p><観光バスの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉市とかつらぎ町の観光地を巡る。 ・1日乗車券1,000円(小児500円) 			取組の意図・目的	<p>○和歌山県側からの来訪促進の実証実験として、広域観光路線バスを運行し、将来的な持続性について検証する。</p>			
		取組の実績・成果	<p>○4月29日から3月末までのバス利用実績<利用人数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計3,229人(4.3人/便) ・うち、1日乗車券の購入者数1,057人 						
	取組②名称：パブリックアート及びタウンマガジンの作成								
	取組の内容	<p>○「KUBOSO」ロゴと、歌川国芳の「荷宝蔵壁のむだ書」に描かれたネコを組み合わせたパブリックアートを制作した。</p> <p>(設置場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館本館前、父鬼和気線の植え込み部分 			取組の意図・目的	<p>○サイン機能を持ち、フォトスポットとしても活用できるパブリックアートを設置するほか、久保惣記念美術館の所蔵品を紹介するタウンマガジンを作成し、美術館のイメージアップと知名度の向上を図る。</p>			
		<p>○ミュージアムタウンを市内外に広くPRするタウンマガジン「こんこん」を発刊した。</p> <p>(発行部数) 20,000部</p>			取組の実績・成果	<p>○パブリックアートの設置により、美術館の存在感が向上することができた。</p> <p>○京都国立近代美術館など、近畿圏の美術館等にタウンマガジンを配布し、久保惣記念美術館の魅力を広く周知した。</p>			
	取組③名称：イベント「久保惣”大でき”美術館」の開催								
	取組の内容	<p>○パブリックアートの設置に合わせて、「久保惣”大でき”美術館」を開催した。</p> <p>(日時)平成30年3月21日(水・祝)10時~15時</p> <p>(場所)久保惣記念美術館</p> <p><イベント内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックアートのお披露目(除幕式) ・大でき展 ・大でき市 ・その他(お茶席体験、陶芸体験) ・スタンプラリー 			取組の意図・目的	<p>○地域の方々や子どもたちとの協働により、美術館の魅力に触れるイベントを開催し、「美術館のあるまち」としてブランディングを図る。</p>			
					取組の実績・成果	<p>○イベントは、1,078人の参加があり、盛況であった。</p> <p>○スタンプラリーでは、エリア内の施設をポイントに設定し、スタンプ数で抽選会に参加できるなど、周遊につなげる取り組みができた。</p> <p>○地元小学校の協力により展示を行うなど、地域を巻き込んだイベントを実施できた。</p>			

KPI (重要業績評価指標)	交付金対象事業	KPI①: エリア内主要施設への来訪者数			
		現状値 (平成27年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成32年度)
		413,220	486,300	447,162	612,000
		KPI②: 和泉市久保惣記念美術館の年間来館者数			
		現状値 (平成27年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成32年度)
		23,161	27,000	43,925	30,000
		KPI③: 新規店舗等開業数			
		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成32年度)
		0	0	0	3
		総合戦略における位置付け		基本目標	年間観光客数
		数値目標	H22 949,029人 → H31 1,600,000人		
所管課の評価	平成29年度における取組の効果	評価	評価理由		
		B 効果的だった	<p>○パブリックアートの設置とあわせて、「久保惣”大”美術館」の開催や、タウンマガジンを発行するなど、複合的に取組むことで久保惣記念美術館の周知及びまちの賑わいの創出に寄与できた。</p> <p>○スタンプラリーの開催により美術館だけでなくエリア内の周遊にも繋げることができた。</p>		
	目標値達成状況にかかる要因分析	達成状況	要因分析		
		2 達成	<p>○美術館開館35周年記念事業として開催した特別展「ピカソと日本美術」の盛況が来館者数の増加に寄与した要因の一つであるが、タウンマガジンの発行やイベントの開催により美術館の周知が図られ、全体的な来館者数の増加につながり、年間来館者数について、目標を達成できた。</p> <p>○エリア内主要施設への来訪者数については、スタンプラリーの開催によりエリア内施設の周遊を図ったが、美術館以外の観光施設については、美術館ほどの大幅な増加とはならず、目標値は達成できなかった。各施設間の移動手段における利便性向上について再検討が必要である。</p>		
	交付金対象事業の必要性	評価	評価理由		
①拡大		<p>○平成29年度に取組んだタウンマガジンの発行やパブリックアートの設置、イベント実施等により、美術館の周知が進んでいるものの、ミュージアムタウンエリア全体のブランディングについては、十分とは言えない。</p> <p>○そのため、平成30年度は交付金を活用して、パブリックアート事業の拡大やモニターツアーの実施に取組むほか、平成31年度以降も、ミュージアムタウンの取組みを継続的に進め、エリアのブランディングやイメージの浸透を図る必要がある。</p>			
平成29年度の取組成果・効果を踏まえた今後の事業展開		<p>【平成30年度の事業展開】</p> <p>○広域観光路線実証実験バスについて、急行便を創設して、利用ニーズの変化を測定し、本格運行について検討する。</p> <p>○パブリックアートをエリア内3箇所に設置し、エリアのブランディングイメージを創出する。</p> <p>○和泉かつらぎ観光路線バスの乗車客を対象に美術館やシティプラザなどをスポットとするスタンプラリーを開催するとともに、その他の観光客を対象とする周遊キャンペーンを実施する。</p> <p>○平成29年度は、美術館に焦点を絞ったタウンマガジンを作成したが、平成30年度についても昨年度発行分と関連性をもたせたタウンマガジンの発行を行う。</p> <p>○新たなエリアの魅力づくりとして特産品の開発を進める。</p> <p>○和泉市の観光地の魅力を旅行会社等に伝えるため、旅行会社の関係者を対象としたモニターツアーを実施する。</p> <p>○ミュージアムタウンの取組の成果について、経済波及調査により効果検証し、来年度以降の事業展開に繋げる。</p> <p>【平成31年度以降の事業展開】</p> <p>○交付金事業の終了後も、ミュージアムタウンに関する取り組みを継続させていくために、学識経験者や地域関係者からなる「和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム」を軸とした推進体制を構築し、和泉市も支援しながら、民間主導の事業展開を図る。</p> <p>○平成30年4月に設立された(一社)泉州ツーリズムビューローとも連携しつつ、アートに関わるワークショップやイベントを通じて来訪促進に繋がる取組を推進する。</p>			